

12月1日（日）ブルキナファソ・ナショナルデー式典

鈴木外務副大臣スピーチ

令和元年12月

ご来場の皆様,

本日、ブルキナファソの独立59周年のナショナルデーを、TICAD7が開催されたこの横浜で、皆様と共にお祝いできることを嬉しく思います。

私自身の選挙区が横浜市であるゆかりもあり、私は、外務副大臣就任前から、横浜でのTICAD7の成功に向け取り組んで参りました。8月のTICAD7の本番では、財務副大臣として、出席させていただきました。

ブルキナファソからは、TICAD7にカボレ大統領に参加いただきました。その機会に行われた安倍総理との首脳会談では、両国首脳は、幅広い分野で協力を進めていくことで一致しました。また、日本貿易投資機構（JETRO）とブルキナファソ投資促進庁との間で、双方の民間企業進出促進のための覚書も署名されました。

1962年、ブルキナファソが仏語圏アフリカ諸国で最初に東京に大使館を開設して以来、良好な関係が続いてきた両国が、TICA Dを機に、緊密な二国間関係を一層深めることができたことを喜ばしく思います。

「ブルキナファソ」とは、「高潔な人々の国」という意味です。勤勉、親切、几帳面な国民性、また、「おもてなし」の精神は、両国の共通点です。また、伝統を尊重するブルキナファソの国民性も、我々日本人は共有しています。そして日本の食卓に欠かせないゴマですが、日本が輸入するゴマの3分の1はブルキナファソ産でもあります。

ここ横浜と、ブルキナファソの首都ワガドゥグは、映画の都市という意味でも、文化面に共通点があります。横浜では1980年以来、毎年、ヨコハマ映画祭が開催されています。また、ワガドゥグでも、アフリカ最大の国際映画祭である「ワガドゥグ全アフリカ映画祭フェスパコ（FESPACO）」が開催されています。今年2月の同映画祭では、篠田伸二（しのだ・しんじ）監督の「シンプル・ギフト」が上映され、好評を博したとのことでした。

今後も両国の緊密な信頼関係がさらに発展することを祈念し、ブルキナファソの独立59周年のナショナルデーの祝辞とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)